

選挙に行こう流し原稿と宣伝スポット（案）

〈選挙に行こう〉

私たちは、人権と民主主義を守る国民救援会です。

国民の暮らしと日本の針路を決める総選挙がおこなわれます。

「政治は私とは関係ない」と思われていたかもしれませんが、しかし、コロナ禍を通じて感染防止や生活の補償など、政治が私たちの命と暮らしに直結していることを感じる日々です。

みなさん、政治の行方を決めるのは、政治家ではなく、主権者である国民です。あなたの一票です。ぜひ投票に行きましょう。

〈選挙に行こう+自由な選挙〉①

私たちは、人権と民主主義を守る国民救援会です。

（のびのび自由な選挙の実現を求める民間パトロール隊です。）

みなさん、政治を決めるのは政治家でなく、私たち主権者です。ぜひ投票に行きましょう。

最近の国政選挙では、半分の人が選挙に行っていません。その理由は「投票したい候補者・政党がない」、「投票しても政治は変わらない」というものです。

どの候補が自分の思いを実現してくれるのか。それを判断するための情報がほとんどありません。なぜでしょうか。それは、法律で、候補者が政策や選挙公約を知らせるために、自由に宣伝したり、ビラを配ることを犯罪として罰しているからです。

選挙のときこそ、言論の自由が保障されるべきです。いまの政治はどうか、どの候補者の政策がいかなど、おおいに語り合える、自由でのびのびとした選挙の実現を、私たちはめざしています。

〈選挙に行こう+自由な選挙〉②

私たちは、人権と民主主義を守る国民救援会です。

（のびのび自由な選挙の実現を求める民間パトロール隊です。）

選挙のときに、どの候補者がどのような政策を訴えているのか、なかなか伝わってきません。なぜでしょうか。それは法律で、宣伝活動が制限され、厳しく取り締まられているからです。

実際に、選挙のときに、警察は候補者の宣伝活動を厳しく取り締まっています。本来、取り締まるべきは票を金で買う買収です。しかし、元法務大臣の河井克行（かつゆき）・案里夫妻の買収事件で、現金を受け取った100人を取り締まりませんでした。買収を見逃して、候補者の言論活動を取り締まるのは本末転倒です。

自由でのびのびとした政策宣伝や言論戦をおおいにおこないましょう。警察の不当な妨害はやめさせましょう。もし不当な干渉を受けた場合は国民救援会（電話●●—●●●—●●●●）に連絡してください。